

平成28年度 教育部 歴史文化推進担当部長の目標宣言

歴史文化推進担当部長 山口 譲

1 部長メッセージ

伊勢原市には、豊かな自然と歴史、そのなかで育まれてきた数多くの文化財があります。それらは地域共有の財産であり、市民の誇りでもあります。そうした歴史や文化を十分に理解、認識し、更にくれた文化の花を咲かせるよう努めていくことが、今を生きる我々にとっての尊い使命であり、地域の文化遺産を継承していくことは、先人に対する、そして未来の市民に対する我々世代の責務です。

また、近年、成熟した社会の到来とともに、物質的な豊かさだけでなく精神的な豊かさを求める傾向が強くなってきています。これらのよりどころとして、歴史的な遺産が再び脚光を浴び、地域づくりに歴史や文化財を生かそうという機運が高まりつつあります。

こうした認識のもと、市域に所在する貴重な文化財の保護・活用と継承とともに、文化財を生かした地域活性化など、伊勢原市歴史文化基本構想(平成28年1月策定)に基づく取組を進めます。

2 部の主な役割と運営資源

(1) 主な役割

文化財保護法(昭和25年法律第214号)及び伊勢原市文化財保護条例(平成25年条例第13号)、並びに関連する諸計画と伊勢原市歴史文化基本構想(平成28年1月策定)に基づき、市域に所在する文化財の保護・活用と継承を図るとともに、市民の郷土に対する理解を深め、市民の文化の向上及び発展に貢献します。

(2) 職員数

正職員 7人

(3) 構成する課等

文化財課

(4) 予算額(平成28年度歳出、一般会計・特別会計) ※職員給与費を除く

一般会計 24,476千円(うち、一般財源 22,490千円)

3 平成28年度の取組方針

(1) 歴史文化基本構想に基づく取組を進めます

いせはら歴史解説アドバイザーをはじめとする地域の各種団体等との連携を密にし、市域に所在する貴重な文化財の適正な保護・活用・継承とともに、文化財を生かした地域の活性化を図るなど、伊勢原市歴史文化基本構想(平成28年1月策定)に基づく取組を進めます。

(2) (仮称)郷土資料館の整備に取り組みます

市民から寄付を受けた土地・建物を活用し、郷土資料の展示機能を有する(仮称)郷土資料館の開設に向けた取組を進めます。

(3) 伊勢原市史の編さん成果の取りまとめと活用を図ります

伊勢原市史を総括する、わかりやすいダイジェスト版の発刊に向けた作業を進めます。また、伊勢原市史全12巻については、平成26年度で完結しましたが、その過程で収集した資料やデータの適切な保管、さらに公開へ向けた検討を進めます。

(4) 日本遺産を生かした地域活性化に取り組みます

平成27年度に文化庁が創設した「日本遺産」への認定を生かした地域活性化に取り組みます。

4 平成28年度の具体的な取組と達成目標

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	各種計画との関連
1	宝城坊本堂保存修理支援事業 (文化財課)	・貴重な文化財を継承するため、平成22年度から7箇年計画で進められている宝城坊本堂(国指定重要文化財)の保存修理事業を引き続き支援します。また、修理現場の公開とともに、保存修理の完工を記念する講演会を実施するなど、地域にある文化財の価値と保護への理解に努めます。	[目標値] ・宝城坊本堂の保存修理に合わせた公開事業等への参加者数 500人	第5次総合計画
2	文化財情報発信事業 (文化財課)	・文化財ホームページの内容充実を図るため、新規メニューを追加するとともに、より見やすいものとしていきます。また、ホームページの利便性を活かし、各種イベントの情報などの速やかな発信に努めます。	[目標値] ・文化財ホームページ「いせはら文化財サイト」に掲載するメニュー数 13メニュー	第5次総合計画
3	文化財公開・活用事業 (文化財課)	・歴史解説アドバイザーやさまざまな団体等との連携により、歴史や文化財にふれあう事業や講座などを開催し、地域の文化財への理解と継承する必要性を伝えていきます。	[目標値] ・歴史・文化財ふれあいウォークの実施回数 2回	第5次総合計画
4	日本遺産認定を生かした地域活性化事業 (文化財課)	・日本遺産に認定されたことを広く周知していきます。また、日本遺産を生かした地域活性化の推進体制を整備し、効果的な事業展開を図ります。	[目標値] ・日本遺産の認定を生かした事業展開	第5次総合計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略
5	(仮称)郷土資料館整備事業 (文化財課)	・市民から寄付を受けた土地・建物を有効活用し、(仮称)郷土資料館の開設に向けた作業を進めるとともに、文化財に関する仮設的な展示会を開催していきます。	[目標値] ・仮設的な資料展示会の開催回数 1回	第5次総合計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略
6	伊勢原市史ダイジェスト版の発刊に向けた作業 (文化財課)	・平成30年度の印刷製本を目的に、伊勢原市史ダイジェスト刊行委員会において、原稿素案づくりを進めます。	[目標値] ・原稿素案の完成	—